

- 11月の行事予定
- 2日(金) ちびっこ広場
 - 6日(火) 避難訓練
 - 8日(木) 鬼ごっこ
 - 12日(月) ドッジボール大会
 - 16日(金) ちびっこ広場
 - 19日(月) ジャンケンゲーム

児童館 こどもの ひろば

- 11月の行事予定
- 南児童館 ☎(84)3456
 - 6日(火) 走ってオセロ
 - 9日(金) にこにこ広場
 - 14日(水) プラバン工作
 - 19日(月) みんなでクッキング
 - 27日(火) 避難訓練



万華鏡を作ろう～南児童館～

9月10日、南児童館では「万華鏡づくり」をして楽しみました。まず、3枚の鏡を裏側にして縦に並べてテープでとめ、内側に三角におります。次に、中に色とりどりのビーズを入れた後、両端にビニールと白い紙と覗き用の穴をあけた黒い紙とデザイン紙で包めば完成です。

万華鏡ごとに中に入れたビーズの数や色の違いにより、見えるものも様々です。花に見えたり、また、回転させると火花に見えたり、ピエロに見えるものもありました。簡単な材料と少しの時間で作れ、きれいな模様を見て楽しめますので、ぜひ、万華鏡を作ってみてください。



火おこし～西児童館～

9月15日、西児童館では母親クラブ主催の「火おこし」が行われました。

お母さん方の指導のもと火おこしに挑戦したり、用意してあった七輪でおせんべい焼きに挑戦したりしました。自分で焼いたおせんべいは、とても美味しかったです。

思いやりの心で明るい社会を

少数派への眼差し 五霞東小学校(道徳・第五学年)

以前、新聞記事にこのようなことが掲載されていました。「違いをあげつらい、少数派を生むことで、多数派がまともになり、差別が始まる。最初はささいなことかもしれないが、やがて悲劇につながる」という文章です。この記事は、性同一性障害により心と体の性不一致に悩み、それに対するいじめ、偏見を超えてたくましく生きていくというものです。

東小の児童はクラスの中で穏やかに友達と仲よく生活しています。しかし、一般的に高学年ともなると、仲間と同調しないと仲間はずれにされるプレッシャーも顕著になることがあります。仲間と同調しないと「少数派」となり、「仲間はずれ」、「いじめ」の対象となるのです。この少数派を理解し少数派に向ける「眼差し」が温かければ、どれだけ「少数派」が過剰にやすくなるだろう。そんな理解ある眼差しに気付く授業が展開できればと考え、この新聞記事を利用して、道徳の授業を実施しました。

◆授業の中心発問◆
「男に生まれながら、女性として生きるAさんの生き方をどう思いますか。」
「髪型、持ち物、趣味、発言など、人と違ったことで、恥ずかしいと感じたり、隠したりしていることはないかな?自分や周りの少数派のことを考えてみましょう。」
と全体に投げかけました。

【話し後の児童の感想】
・心と体が一致しない人は、自殺を考えるまで悩んでいたんだなあと思いました。普段の生活の中で私は、少数派の人に対して、「なんでそっちなのか?」と思うことがありました。でも、それは間違っていて、人は「それぞれ」なので、みんなと違っていても、相手を理解し

優しくしてあげれば、みんな堂々と生きていけると思いました。

・この授業で、自分のすることや思うことが人と違っていても、恥ずかしくないと思えました。そして、自分の意見や行動に、周りの人が「それ、良いよ!」と温かく賛成してくれたら、気持ちが悪くなくて、自信がつくと思います。

・みんな一人一人が違ってても別に良いんだな、と思いました。例えば「変な服だ。」なんて言わないで「個性的でいいね。」など温かい言葉が大切だな、と思いました。

・今日の授業で、人と違っていても大丈夫だなと分かりました。無理して人に合わせないで、自分らしさを表現して、自信をもって生きていきたいと思います。

◎少数派の人たちは、肩身の狭さを感じ、自分の立場を上手く表現できないことが多いです。そのことから、二次的ないじめや自殺などの深刻な問題が発生することもあります。誰もが、少数派になることがあります。今回の授業で話し合ったように、少数派の人と向き合ったときに、どのように接すればいいのか、日頃から考えておく必要があると思います。少数派の人たちの「息苦しさ」に周囲の自分たちがどう気付いてどう行動するかが大切になると思っています。

私たちの社会は、少数派を蔑(さげす)む笑いに満ちています。その時に周りに左右されず、どう行動するかを考えられる児童をこれからも育てていきたいと思えます。

